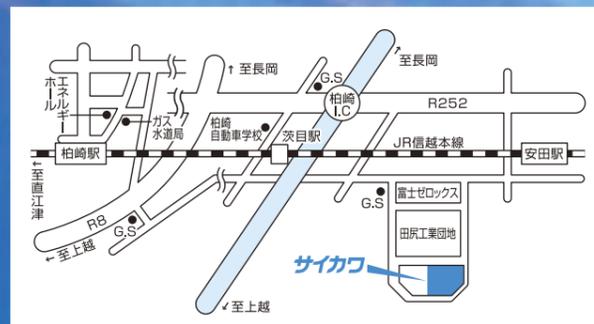


SAIKAWA

Corporate information

株式会社 サイカワ

所在地 〒945-1395 新潟県柏崎市大字安田7586(田尻工業団地内)
TEL 0257-24-4111 FAX 0257-23-1361
URL : <http://www.saikawa.co.jp> E-mail : saikawa@saikawa.co.jp



明日の未来へ向って。
世界へはばたくサイカワ



サイカワ企業グループ



株式会社柿崎機械

〒949-3293 新潟県上越市柿崎区馬正面1278-30
TEL : 025-536-2224 (代表)
FAX : 025-536-4501
主製品：油圧機器・バルブ 総合メーカー
URL : <http://www.kakizaki.co.jp/>



理研精機株式会社

〒947-8555 新潟県小千谷市稗生乙664
TEL : 0258-82-4121 (代表)
FAX : 0258-81-1100
主製品：超高压油圧機器・コレットチャック 総合メーカー
URL : <http://www.rikenseiki.co.jp/>

MANAGEMENT BUSINESS POLICY

世界に通じる技術と能力を保持しよう

ごあいさつ

サイカワは1910年の創業以来、電線製造機械のトップメーカーとして歩み続けることができました。これもひとえにお客様各位のご愛顧の賜物と感謝申し上げます次第です。

この間、海外の電線製造機械メーカーとの技術提携、中国での合併会社の立ち上げ、さらに伸線機以外の電線製造機械メーカーの事業継承と、いち早くグローバル化に対応するとともに総合電線製造機械メーカーへと業容を拡大してまいりました。この上は、日本の新潟県にある柏崎市という小さなまちにも、サイカワという世界を相手に商売ができる会社があるという現実には誇りをもち、「世界を駆ける小さな会社」を目指す所存でございますので、今後ともお客様各位の変わらぬご愛顧とご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
西川 正 男

企業ビジョン

私たちは社会に貢献することを喜びとし、開発精神を存分に発揮することにより、世界を駆ける小さな会社を目指す。

経営姿勢

顧客至上

お客様のニーズに合わせ、確かな品質の製品サービスの提供をする。

仕様を満足させ、価格を満足させ、納期を満足させ、安心してお使いいただける機械を作ること、これがお客様からサイカワに与えられた使命の本質であることを正しく理解する。

人間尊重

人を育て、力を活かし、仕事の誇りと喜びを共にする。

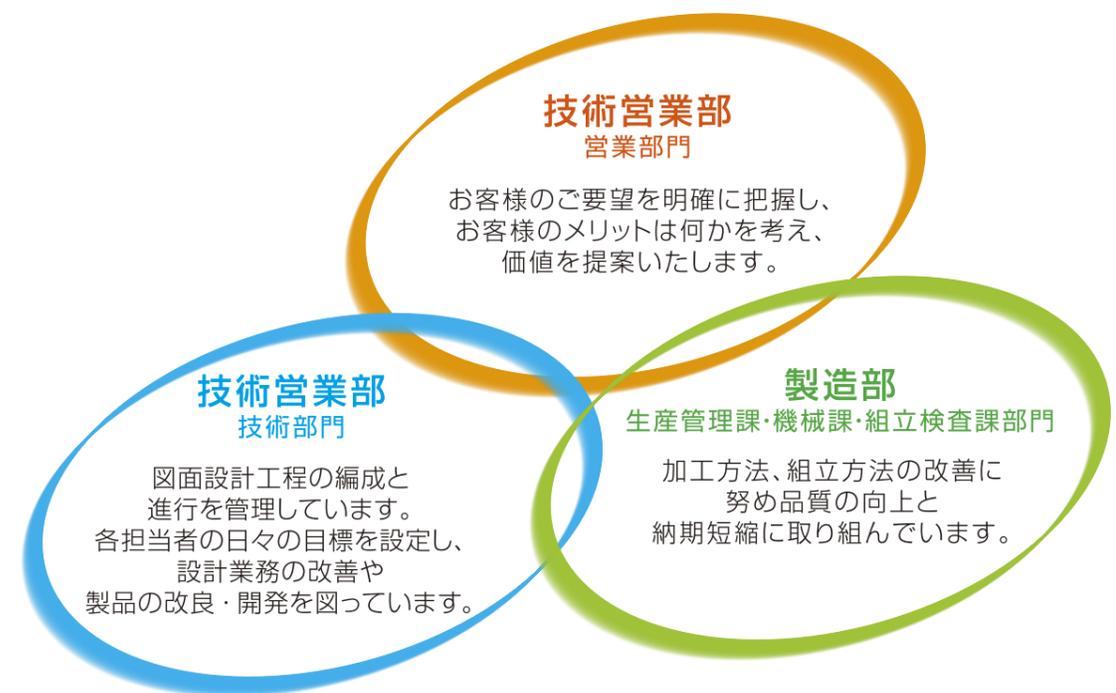
誰もが切磋琢磨してものづくりのプロとなり、その力の結集でサイカワの総合力を発揮し、その結果としてお客様から喜んでいただくことを誇りと喜びにする。

社員像

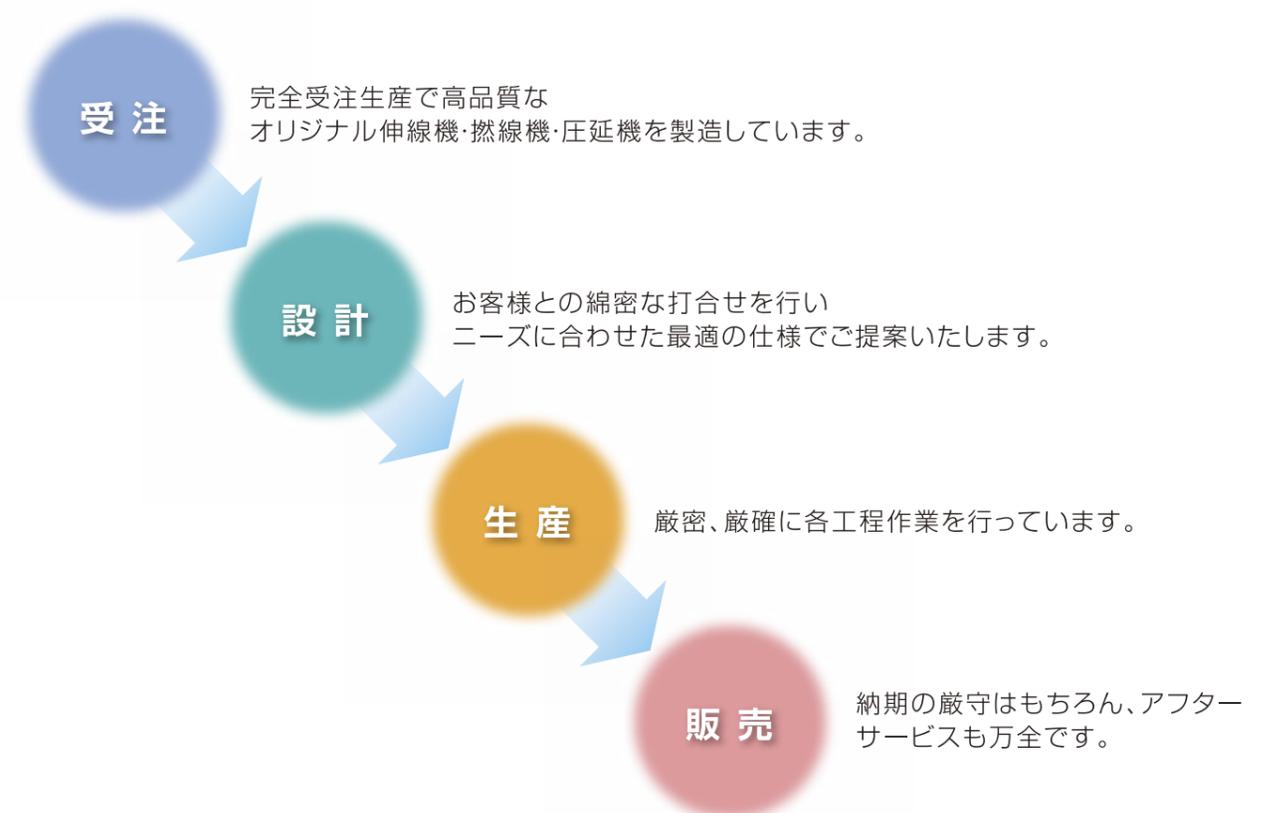
時代を敏感にキャッチし、タイムリーに行動する高感度集団をめざす。

サイカワは、世の中の動きやお客様の考えを敏感にキャッチし、迅速に、かつ適切に行動できる人材の集まりで、ものづくりのプロ集団でなければならない。

会社組織



ワークスタイル



会社概要

商号

株式会社サイカワ

所在地

〒945-1395
新潟県柏崎市大字安田7586（田尻工業団地内）
TEL：0257-24-4111（代表）
FAX：0257-23-1361
URL：http://www.saikawa.co.jp
E-mail：saikawa@saikawa.co.jp

代表者

代表取締役社長 西川 正男

創業

明治43年8月（1910年）

資本金

62,350,000円

従業員

110名

事業内容

各種材料線（銅線、アルミ線、ステンレス線、鉄鋼線、金線、他）の伸線機、電線装置機械、光ファイバーケーブル製造装置、LAN電子ワイヤーケーブル製造装置、コルゲート外装機、シングルツイストパンチャー、ダブルツイストパンチャー、横巻シールド機、テープ巻装置、塑性加工機械の設計、製作及び販売

線の種類

銅線、黄銅線、鉄鋼線、アルミ線、ステンレス線、ハンダ線、金線、貴金属線、アモルファス線、超電導線、ボンディングワイヤー、形状記憶合金線、溶接ワイヤー 他

業種別

各種業界でサイカワの機械は社会貢献をしています。

- 【電線業界】 銅線、平角圧延線（FFC、裸銅線）、光ファイバーケーブル
- 【銅合金線業界】 EDM線
- 【鉄鋼線業界】 スチールコード、ソーワイヤー、溶接ワイヤー
- 【ステンレス線業界】 ワイヤーロープ、スプリング、フィルターメッシュ、スクリーンメッシュ
- 【貴金属線業界】 ボンディング線、一般貴金属
- 【その他業界】 超伝導線、形状記憶合金線、その他

製品紹介



極細線同軸ケーブル用横巻シールド機

導体径	AWG42—AWG46(銅線及び錫入銅合金線)
シールド線径	φ0.016mm～φ0.03mm
シールド本数	Max40本
横巻ピッチ	0.4mm～8mm
線速	20m/min
本体回転数	Max 3000rpm(シングルツイスト)



真鍮線(EDMワイヤー)用伸線機
HMA-21J型伸線機

供給線径	φ1.2mm～φ0.6mm
仕上線径	φ0.3mm～φ0.1mm
機械速度	Max 1600m/min



リボンファイバー集合機

ケージ配列	リボン12B+ヤーン10B
線速	Max60m/min
本体回転数	Max 170rpm



銅線用荒引伸線機 LLA-11V(焼鈍機付)

供給線径	φ8.0mm
仕上線径	φ3.2mm～φ1.6mm
機械速度	Max 1800m/min



C-20型螺旋コルゲート管製造装置
(キャタピラー式引取機、コルゲート装置)

パイプ材質	SUS316(JIS G4306)
パイプ外径	φ7mm～φ20mm
波付ピッチ	4mm(ピッチ変更可能)
波形状	ストレート部付螺旋溝(間欠コルゲートタイプ)
線径	Max 9.8m/min
コルゲート回転数	Max 1000rpm



錫メッキ銅平角線用伸線機・焼鈍・巻取機(高速型)
M13+HE100+AF0+D5B型

供給線径	φ0.9mm～φ0.4mm
圧延巾	0.8mm～0.3mm
圧延厚	0.1mm～0.035mm
機械速度	Max 150m/min

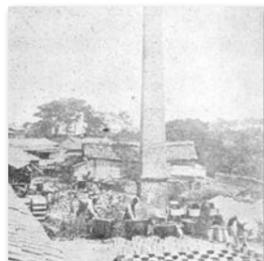
1

成り立ち

明治43年（1910年）創業。



日本石油のマーク
コウモリ印の入った鬼瓦
(大久保焼)



大窪の西川煉瓦工場



西川煉瓦工場の長岡分工場

2

宿場町として栄えた柏崎

- ・以前の柏崎は曾地峠、米山峠にはさまれた宿場町でした。
- ・明治11年頃は、新潟無形文化財となっている大久保焼（鬼瓦、壺、徳利）を作っていました。

3

明治時代 石油発祥西山⇒柏崎の産業の変化

- ・日本石油柏崎工場（柏崎駅前⇒日石加工油） 明治32年 平成13年閉鎖
 - ・新潟鉄工所柏崎工場（現新潟ウオシントン） 明治33年
 - ・県立柏崎中学校創立、柏崎病院 明治33年
- その頃、創業前の我社は農耕器具をつくる鍛冶屋でした。

4

大正時代 石油で栄えた柏崎

大正時代に旋盤2台、ボール盤1台、社員5名で石油のさく井機械（継手類）の製作を開始。
大正11年、理研の創始者で理科学研究所の大河内正敏博士が全国に産業を起すことで当柏崎の石油に着目。先々代の西川弥平治（県議会議員⇒参議院議員）とのつながりで柏崎駅前の旧西川鉄工所の跡地に理化学興業（株）[現在の（株）リケンが発祥地]が設立されました。アドソール（吸湿剤）を製造。



石油櫓が林立する西山長嶺油田

時代を拓く、時代を運ぶ。
世界はひとつ。ワングローバルマーケット。

5

昭和時代 伸線機メーカー サイカワ誕生

初めて伸線機を製造販売したきっかけは、大河内博士の伸線機製作の要望と指導によりました。昭和8年ドイツのクラトス社製伸線機の細部部品が無い中古機を、当時、専務の関忠三郎が設計改良し、第1号機は昭和9年に完成し、翌年にかけて理研柏崎工場に10台納入しました。

6

大太平洋戦争時代

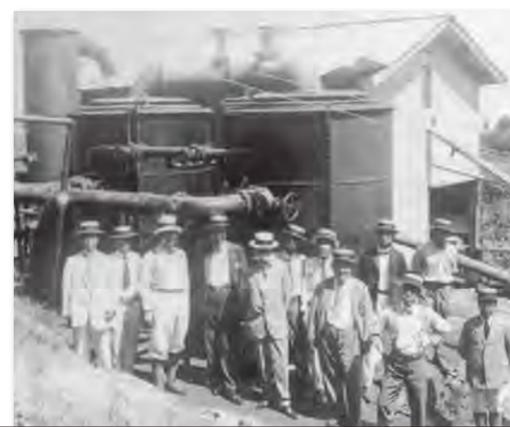
戦前は舞鶴工廠（軍、直属の生産工場）の指定工場となり機関銃等の製作も行いました。

7

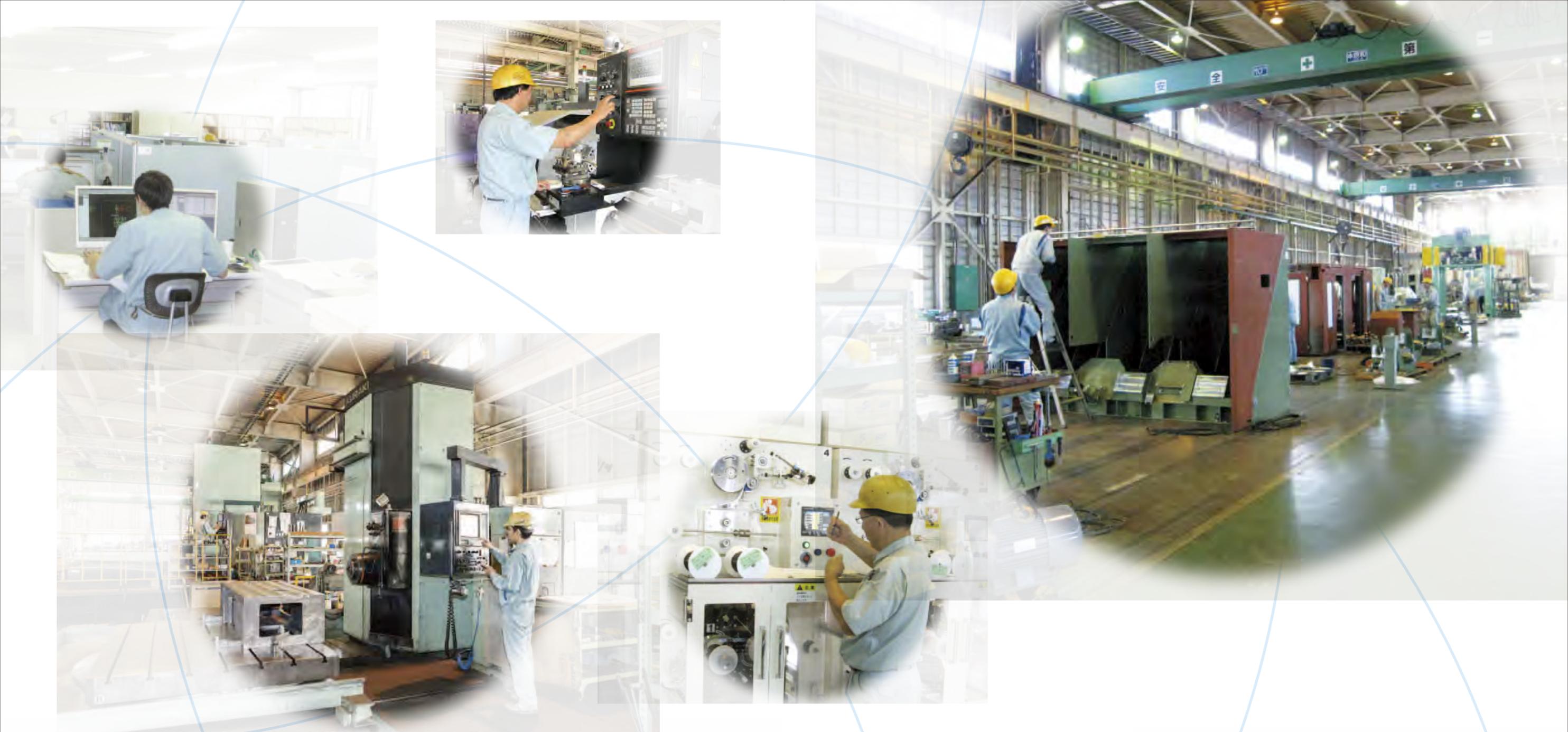
現在、世界に羽ばたくサイカワ

細線機を主力製品として、日々の研鑽を行いながら、世界を相手に経営を行っています。

大正15年7月理化学研究所ガソリンプラント施設を視察
右端:西川弥平治 左より3人目:大河内正敏博士



昭和43年 旧柏崎市庁舎を取得改装した当社本館



BUSINESS STANCE

最小10ミクロンまで金属線を引き伸ばす
世界トップシェアの伸線機製造メーカー

1910年の創業当時は石油さく井機械の製造を行っていましたが、金属線を引き伸ばして電線を作る伸線機の製造・販売を1937年に開始。それ以来、電力ケーブル、通信ケーブル用電線、半導体用ボンディングワイヤーなど様々な伸線機を生み出し、現在では国内唯一の伸線機専門メーカーです。





沿革

1910年 8月	石油さく井諸機械及部品製作をはじめ	1974年 11月	液圧伸線機の完成 生産に入る	1996年 1月	サイカワの子会社、エステームを発足する	2009年 11月	資源エネルギー庁から平成21年度電気自動車及び環境整備実証事業「ガソリンスタンド等における充電サービス実証事業」を受託する
1922年 8月	製缶工場を新設する	1980年 6月	創立70周年記念式を挙げる	1996年 5月	機械設計図面を全面CAD化に向けてシステム導入する	2010年 5月	資源エネルギー庁へEVコミュニティに最適な充電インフラ整備の研究開発とEVセンターの運営及び実証試験の事業完了報告をする
1924年 1月	合名会社に組織変更する 資本金3万円となる	1980年 7月	管理棟、出荷工場、社員クラブの新築及び整備 7月1日付 本社所在地を下記の通り移転登記完了する (旧) 柏崎駅前2丁目2番地22号 (新) 柏崎駅前1丁目5番地48号	1997年 3月	資材・原価・販売・財務コンピュータシステムを再構築する	2010年 7月	ISO9001認証(2008年版)に移行する(JQA-QM5164)
1927年 2月	工作機械(旋盤、型削盤)の生産を開始する	1980年 8月	昭和55年度合理化計画による省力化機械の導入をはかる	1997年 4月	ボビン巻取機用オートトラバース装置を開発する	2010年 9月	上海ワイヤーショーにFFC用圧延ラインを出展する
1934年 7月	鑄造工場を新設する	1982年 3月	事務合理化のためコンピュータを導入する	1998年 2月	電気設計図面を全面CAD化に向けてシステム導入する	2010年 10月	創立100周年記念祝賀会を挙げる 日本国内207社、海外135社、21ヶ国との取引実績
1935年 11月	柿崎町に西川鉄工所柿崎工場を新設する	1982年 7月	無人化伸線システム「MF-60」を完成 シンガポールのアジアワイヤーショーに出展	2000年 8月	ISO9001認証取得する	2011年 2月	テーブル形大型CNC横中ぐりフライス盤を導入する
1937年 3月	伸線機械の生産を開始する	1983年 12月	危険物庫完成、集中管理を行う	2000年 9月	社内PHS電話システムを導入し、情報の効率化をはかる	2011年 3月	3次元CADデータ管理システム(PDM)を導入する
1940年 10月	株式会社に組織変更する 資本金16万円となる	1984年 4月	事務合理化のため、自動製図機及びワープロの導入をはかる	2001年 9月	CNC横中繰りフライス盤を導入する	2011年 5月	塑性加工学会、塑性加工功績賞を受賞する
1942年 5月	東京営業所を開設する	1984年 5月	製缶事業部、事務所新築落成	2002年 5月	アモイ漢和機械(中国)より製缶フレーム・セラミック溶射キャブスタンを調達する	2011年 11月	第45回グッドカンパニー大賞優秀企業賞を受賞する
1942年 6月	商工省指定S型旋盤、万能工具研磨盤の生産を開始する	1984年 9月	鋼材倉庫、新築落成	2002年 8月	ISO9001認証(2000年版)を改定取得する	2012年 9月	上海ワイヤーショーにE-150型圧延機を出展する
1943年 4月	子会社の下記2社を吸収合併する 合資会社 西川商店 株式会社 柏陽機械製作所	1984年 12月	昭和59年度合理化計画による省力化機械(大型マシニングセンター)の導入をはかる	2002年 3月	安全衛生管理指定事業所	2013年 10月	メールマガジン配信サービス開始
1943年 6月	海軍管理工場の指定を受け兵器の生産を開始する	1985年 12月	省力化のため大型機械の導入をはかる	2003年 2月	吉田工業株式会社の事業を継承する	2014年 11月	電気自動車用急速充電規格の国際標準 CHAdeMO認証取得
1944年 10月	比角工場を本社工場に移転する。	1989年 3月	工場移転用地として田尻工業団地に35,000㎡の土地を購入する	2003年 3月	大阪営業所を本社に統合する	2015年 6月	電気自動車用移動式放電器販売開始 Electric Delivery System(EDS-11)
1945年 9月	終戦により兵器生産を廃止して伸線機及び量製造機械の生産に変更する	1989年 6月	駅前分室新築落成	2004年 4月	昆山五宜機械有限公司、株式会社サイカワ、株式会社キンレイの合弁会社を中国に設立 会社名:昆山三技機械有限公司(KSW)	2015年 12月	昆山三技機械有限公司(KSW)を本社に統合する
1950年 4月	製缶工場で建設業の登録認可を受ける	1990年 3月	工場用地として田尻工業団地に31,530㎡の土地を購入する	2005年 9月	溶接ワイヤー用高速ストレートペイル巻取機を開発する	2018年 7月	門型マシニングセンター(MCV-AII)を導入する
1952年 11月	資本金300万円となる	1990年 9月	FFC用圧延ラインを開発する	2007年 1月	KSW新工場竣工		
1955年 1月	理研製鋼株式会社小千谷工場を買収し、理研精機株式会社と改称する	1991年 4月	工場設備の見直しにより新規設備機械の導入をはかる	2007年 6月	「07年版元気なモノ作り中小企業三百社」に選ばれ経済産業大臣から表彰を受ける		
1956年 12月	新工場建設、駅前1丁目に移転する	1991年 5月	田尻工業団地内に新工場棟、事務所棟、付属建家、付帯設備竣工	2007年 8月	駅前分室閉鎖		
1961年 4月	資本金3,000万円となる	1991年 6月	6月12日付で本社所在地を下記の通り移転登記完了する (旧) 柏崎駅前1丁目5番48号 (新) 柏崎市安田田尻工業団地7586番地	2007年 10月	多様旋盤、切削盤を導入する		
1965年 10月	第一次合理化計画の実施に入る	1991年 10月	社屋竣工記念式、創業81周年記念式を挙げる	2008年 7月	ペーパーレス化の為にコー・ファクトリオシステムを導入する		
1966年 9月	大阪営業所を開設する	1992年 4月	4月1日付で社名を下記の通り変更登記する (旧) 株式会社西川鉄工所 (新) 株式会社サイカワ	2008年 11月	ワイヤー放電加工機を導入する		
1967年 12月	資本金6,000万円となる	1995年 9月	資本金6,235万円となる	2009年 3月	新潟県より「いがた世界にチャレンジするモノづくり企業67選」に選定される		
1968年 10月	10月1日 旧柏崎市役所の土地及び建物を買収する	1995年 12月	東京営業所を本社に統合する	2009年 6月	経済産業省の平成20年度低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業で財団法人にいがた創造機構から事業委託を受ける		
1968年 12月	12月25日付 本社所在地を下記の通り移転登記完了する (旧) 柏崎市駅前1丁目5番28号 (新) 柏崎市駅前2丁目2番22号			2009年 10月	FFC用高速圧延焼鈍ラインを開発する		
1969年 1月	第二次合理化計画の実施に入る			2009年 10月	にいがた創造機構から受託実証事業用に電気自動車アイミーブを改良し、電気充電用自動車「助っ人EV」を開発する		
1970年 3月	独身寮完成						
1970年 11月	創立60周年記念式挙げる						
	第二工場、鑄物工場、手洗更衣室、新築完成						
1974年 3月	資本金9,500万円となる						
1974年 6月	合理化計画による大型機械導入をはかる						

新次元へ広がる
テクノフィールド。

未来へのプランはいま
着実に進行している。

国内、海外を問わず、お客様の要求に応じ
世界各国の伸線機専門メーカーとして
事業を展開しています。

国内主要取引先

約230社

海外主要取引先

中華人民共和国	35社	東南アジア	25社
大韓民国	25社	その他	20社
台湾	30社		

